



## 1.流域の自然状況

### 1-1 河川・流域の概要



流域面積（集水面積）：1,730km<sup>2</sup>  
 幹川流路延長：96km  
 流域内人口：約60万人  
 想定氾濫区域面積：75.7km<sup>2</sup>  
 想定氾濫区域内人口：約21万人  
 想定氾濫区域内資産：約2兆9千億円  
 主な市町村：加古川市、西脇市、篠山市等

関連市町人口(H17)	
丹波市	7.1万人
篠山市	4.5万人
西脇市	4.4万人
三田市	11.4万人
加東市	4.0万人
加西市	4.9万人
小野市	5.0万人
三木市	8.4万人
加古川市	26.7万人
高砂市	9.5万人
神戸市	152.5万人
福美町	3.2万人
多可町	2.4万人

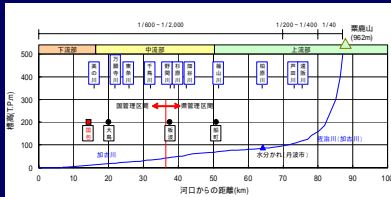
## 1-2 地形

### (1) 加古川流域の地形

下流部は扇状地でひとたび氾濫すると被害が甚大となる可能性あり

由良川流域との中央分水界標高は、丹波市氷上町の「水分かれ」において標高約90mと日本一低い

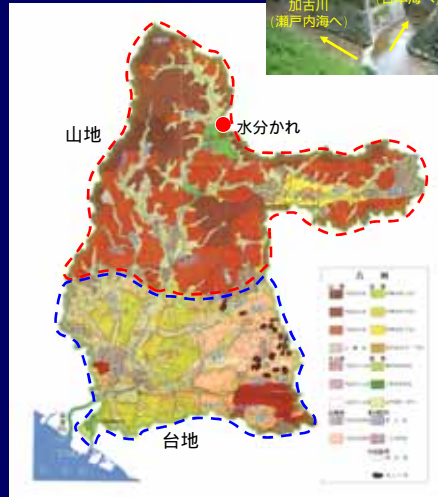
河床勾配



横断概要図(加古川市街地【河口より5km】)



水分かれ



加古川流域地形図

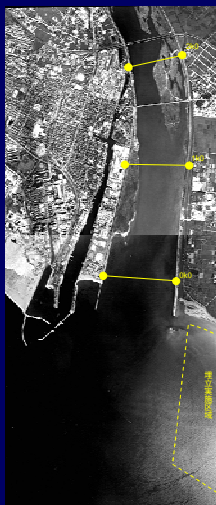
### (2) 河口部の変遷

左岸側の河口部は埋め立てられ、工業地帯となった  
河口砂州は発達していない

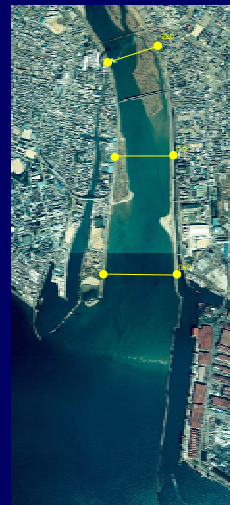
S22年撮影



S42年撮影



H12年撮影



### 1-3 地質

#### 篠山川の河川争奪



闘竜灘



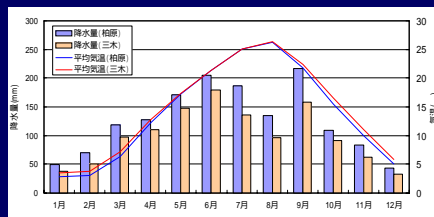
篠山川の河川争奪  
 篠山盆地の排水は、古武庫川（当該地南側）によって行われていた。しかし、1万8千年前、河川争奪の結果、加古川に排水されるようになった。

中流部において自然が造形した奇岩の闘竜灘が存在

加古川流域地質図

### 1-4 気候・気象

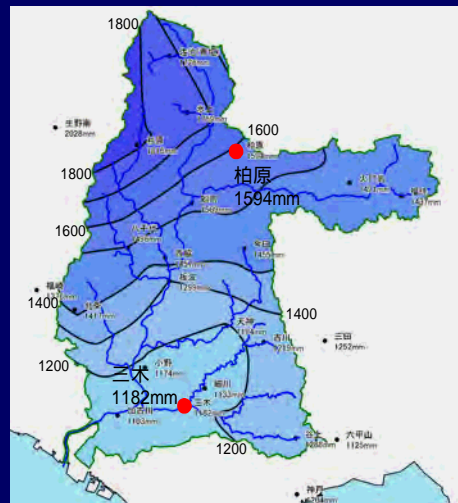
#### 月別降水量・気温



柏原・三木観測所の月別平均降水量・気温 (S54 ~ H12年までの24年間の平均)

上流部は年間の降水量が約1,600mmと多い

中・下流部は降水量が約1,200mmと少ない瀬戸内海型気候



年間降水量分布図 (H8 ~ H18年までの11年間の平均)

## 2.流域の自然環境

### 2-1 河川環境区分

上流部（佐治川）：篠山川合流点～源流部  
 上流部（篠山川）：本川合流点～源流部  
 中流部：美の川合流点～篠山川合流点  
 下流部：古新堰堤～美の川合流点  
 感潮域：河口～古新堰堤

区分	加古川				篠山川
	感潮域	下流部	中流部	上流部(佐治川)	
区画	河口～古新堰堤	古新堰堤～美の川合流点	美の川合流点～篠山川合流点	篠山川合流点～源流部	源流部
地形	平地	平地	平地	平地・山地	山地・山地
特性	汽水域・干涸	淡水域・渾濁	渾濁	渾濁・濁流・渾濁	渾濁・濁流・渾濁
河床材料	砂礫	砂礫	砂礫	砂礫・礫	砂礫・礫
勾配	約1/2,000	約1/1,000	約1/1,000	約1/400～1/600	約1/150～1/500
植物相	塩沼植物群落 アイアシ群落 ヨシ群落	ヨシ群落 ササ群落 多年生草本群落	ヨシ群落 ササ群落 多年生草本群落	スギ・ヒノキ植林 アカマツ群落 水田植林群落	スギ・ヒノキ植林 アカマツ群落 水田植林群落 カラタネ・アカヤナヒ
動物相	ヒサゴ カンムリカイツブリ ミズハヤ ハケセンショウマメキ	ササゴイ、オオヨシキリ シ、ウサシホシテントウ カネモリ、メダカ トンボリササノハガイ	チユウザキ、カワセミ アナゴ、ジムグリ カマツキ、ヒメボトモ アブラモチ イチモンシタナゴ	ハチクマ、アオジ、イナガ モリアオガエル カサガ、オヤニラミ	イソナギ、アオジ、イナガ シクハイトンボ スサザシ、アカガ、オヤニラミ

#### 流域内の自然公園

- ・多紀連山県立自然公園
- ・朝来群山県立自然公園
- ・清水東条湖立杭県立自然公園
- ・笠形山千ヶ峰県立自然公園
- ・播磨中部丘陵県立自然公園



加古川流域環境区分図

### 2-2 河川の自然環境

#### (1) 上流部（佐治川）

佐治川源流部は、山地ではあるが起伏が小さく、中央分水嶺の最低標高は約95mと日本で最も低い。従って、源流部であっても、丘陵地の様相を呈し、アカマツ群落、スギ・ヒノキ植林で占められる。

佐治川流域は、上流部としては比較的広い谷底平野が発達しており、淵や淀みにはアブラハヤ、平瀬にはアカガ等の魚類が生息・繁殖している。

[ 代表的な動植物 ]

#### 佐治川源流部



ハチクマ  
(環境相RL：準絶滅危惧)



ムカシトンボ  
(兵庫県RDB：要注目種)

#### 佐治川谷底平野



アオハタトンボ  
(兵庫県RDB：Aランク)



バイカモ  
(兵庫県RDB：Bランク)



## (2) 上流部 (篠山川)

佐治川同様山地ではあるが起伏が小さく、佐治川流域よりもさらに広い谷底平野発達し、周囲には篠山市の中心街が広がる。

大山川合流点から川代ダムまでの区間は、アラカシ、ケヤキ等からなる渓谷となり、露岩した河床が続く山地渓流区間となっている。

篠山川谷底平野



川代渓谷



[ 代表的な動植物 ]



ナガミノツルキケマン  
(近畿RDB)



オヤニラミ  
(環境省RDL: 絶滅危惧 類)



カマツカ



アカザ  
(環境省RDL: 絶滅危惧 類)

## (3) 中流部 (美の川合流点 ~ 篠山川合流点)

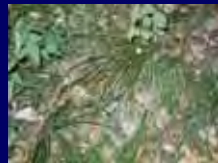
中流部には「闘竜灘」が存在し、その上下流区間は岩河床区間となっており、溪流沿いの岩地に生育するフサナキリスゲ、サツキ、ユキヤナギ等の生育環境となっている。

支川杉原川は河川区分では中流部に入るものの、佐治川上流部や篠山川上流部の様子を呈しており、アカザ、カジカ、オヤニラミ等が生息・繁殖している。

中流部 (闘竜灘周辺)



[ 代表的な動植物 ]



フサナキリスゲ  
(近畿RDB)



サイカチ  
(近畿RDB)



ミクリ  
(環境省RDL: 絶滅危惧 類)



ハンゲシヨウ  
(兵庫県RDB: Cランク)

#### (4) 下流部 (古新堰堤～美の川合流点)

下流部には古新堰堤、加古川堰堤、加古川大堰による湛水区間が断続的に分布している。加古川大堰より上流部は広い湛水域となっており、カンムリカイツブリやカモ類の集団越冬地となっている。

下流部は日本有数のため池密度を誇っており、兵庫県が地域と連携してため池の環境の保全・整備を実施している。

下流部 (加古川大堰周辺)



加古川大堰

[ 代表的な動植物 ]



オオヨシキリ  
(兵庫県RDB：Bランク)



抽水植物群落  
(ヨシ群落)



タコノアシ  
(環境省RDL：準絶滅危惧)



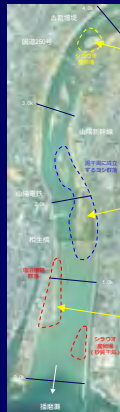
ミソコウジュ  
(環境省RDL：準絶滅危惧)

#### (4) 感潮域 (河口～古新堰堤)

古新堰堤下流は砂礫砂州が発達しており、ミズオオバコ、ヒロハトリゲモ、タコノアシ等が生育している。

ヨシを中心とした塩沼植物群落やカモノハシ群落等の砂丘植物群落も分布している。干潟にはトウネン、キアシシギ、チュウシャクシギ等のシギ類が多数飛来し、採餌場として利用しているほか、ヒロクチカノコガイ、ハクセンシオマネキ等の底生動物やエドハゼ、ウロハゼ等の魚類が生息・繁殖している。

感潮域



シロウオの産卵場



中州に広がるヨシ群落



河口部の塩沼植物群落  
兵庫県RDB：Aランク

[ 代表的な動植物 ]



ハクセンシオマネキ  
(環境省RDL：準絶滅危惧)



ヨドシロヘリハンミョウ



シロウオ



アイアシ  
(兵庫県RDB：Cランク)

### 3.流域の社会状況

#### 3-1 流域内の土地利用

流域の61%が山林等、27%が農地等、12%が宅地等市街地

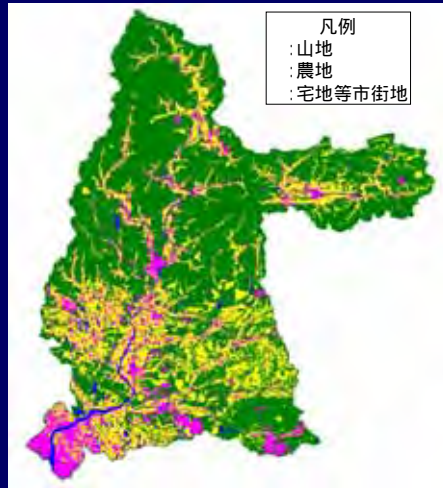
降雨が比較的少ないため、流域内随所にかんがい用のため池が存在（加古川関連市町に17,069ヶ所（H18年、兵庫県調査））



流域内のため池  
（加古大池）  
（出典：兵庫県）

県名	ため池数 (カ所)	割合
兵庫県	44,293	21%
広島県	20,988	10%
香川県	16,158	8%
山口県	12,482	6%
岡山県	10,284	5%
全国	213,893	100%

ため池数全国上位5県  
（農水省1989年）

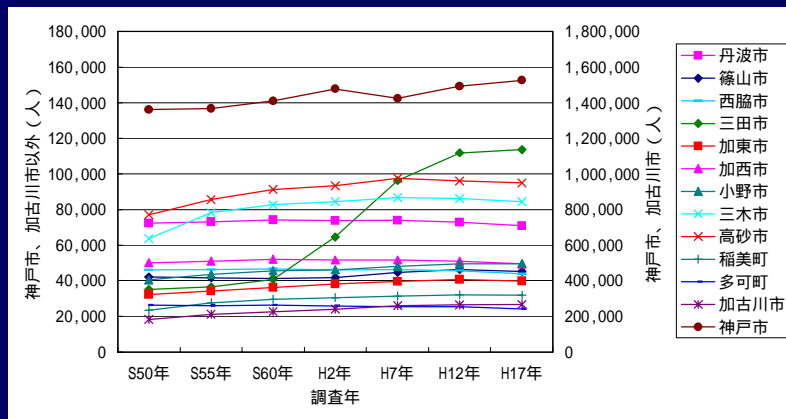


凡例  
:山地  
:農地  
:宅地等市街地

出典：国土数値情報 H9年

#### 3-2 加古川流域の関連市町別人口の推移

昭和50年に200万人弱だった流域関連市町の人口は、その後微増を続け平成17年には約244万人となり、兵庫県全体の約44%を占める



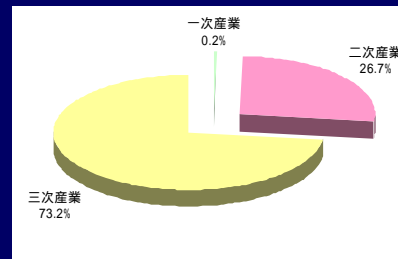
加古川流域における関連市町別 人口の推移

出典：兵庫県統計書

### 3-3 加古川流域内産業

#### (1) 産業別就労人口

加古川流域関連市町の産業別就労人口は三次産業が7割以上を占め、二次産業が残り3割を占めており、一次産業就労人口はほとんどない



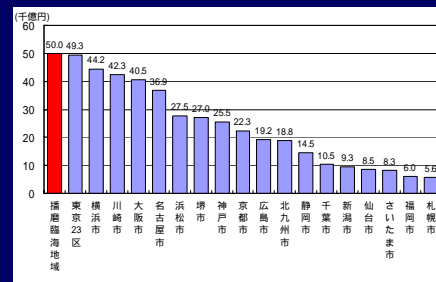
加古川流域内産業別就労人口の割合

出典：兵庫県統計書

#### (2) 流域内産業

河口部に位置する播磨臨海工業地域において重化学工業が盛んであり、製造品出荷額は政令市を凌駕する

西脇市、三木市、小野市等の中流部では染物、金物、そろばん等の伝統産業が盛んである



製造品出荷額（播磨臨海工業地域）

### 3-4 交通

流域内の交通として、山陽新幹線、JR山陽本線、JR加古川線、JR福知山線などの鉄道や、中国縦貫自動車道、山陽自動車道、国道2号、国道250号、加古川バイパスなどの道路が加古川流域を横断するとともに、北近畿豊岡道路、国道175号、国道427号などが流域を縦断している

河口部の東播磨港は播磨灘北東部に位置する重要港湾であり、西側に隣接する特定重要港湾、姫路港とともに播磨工業地帯の中核港湾として重要な役割を果たしている



加古川流域における交通網



## 4.治水事業の概要

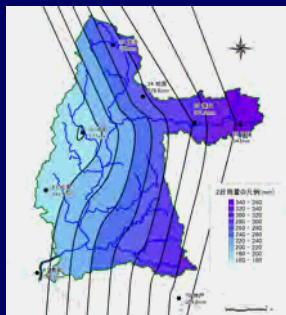
### 4-1 既往洪水の概要

発生年月日	発生原因	国包上流 2日雨量 (mm/2日)	国包地点 流量 (m <sup>3</sup> /s)	被害状況
明治40年8月	台風	190.2	不明	流出家屋: 83戸、浸水家屋: 2,999戸 浸水面積: 14,375ha
大正10年9月	台風	212.5	不明	浸水面積: 2,705ha
昭和20年10月	阿久根台風	240.1	7,700 - 9,050	浸水家屋: 不明 浸水面積: 不明
昭和40年9月	前線	208.4	3,600	家屋浸水: 3,491戸 浸水面積: 7,904ha
昭和45年6月	梅雨前線	218.6	3,000	家屋浸水: 34戸 (床上: 9戸, 床下: 25戸) 浸水面積: 818ha
昭和51年9月	台風17号及び 秋雨前線	191.4	2,800	家屋浸水: 1,800戸 (床上: 143戸, 床下: 1,657戸) 浸水面積: 5,923ha
昭和58年9月	秋雨前線	225.1	4,900	家屋浸水: 2,034戸 (床上: 368戸, 床下: 1,666戸) 浸水面積: 1,013ha
平成16年10月	台風23号	216.7	5,900	家屋浸水: 1,652戸 (床上: 430戸, 床下: 1,222戸) 浸水面積: 1,447ha

出典: 『水害統計, および』兵庫県災害誌;  
国包地点流量は氾濫戻し流量である  
S20.10は推定流量

#### (1) 昭和20年10月洪水(阿久根台風)

国包地点流量: 約9,050m<sup>3</sup>/s (推定)  
浸水家屋数: 不明  
浸水面積: 不明



S20.10洪水等雨量線図



浸水実績再現状況

#### (2) 昭和58年9月洪水(秋雨前線)

国包地点流量: 約4,900m<sup>3</sup>/s  
浸水家屋数: 床上368戸、床下1,666戸  
浸水面積: 1,447ha



西脇市街地の浸水  
(西脇市)



開電灘  
(加東市滝野町)

### (3) 平成16年10月洪水(台風23号)

国包地点流量：約5,900m<sup>3</sup>/s  
 浸水家屋数：床上430戸、床下1,222戸  
 浸水面積：1,013ha

### 4-2 治水計画の変遷

#### 明治～戦前



#### M40.8 洪水(台風)

流域平均雨量2日雨量：190.2mm  
 国包地点流量：不明  
 家屋浸水：2,999戸  
 浸水面積：14,375ha

#### T7 加古川改修工事(第一期治水計画)

基準点：国包  
 計画高水流量：4,450m<sup>3</sup>/s  
 計画対象洪水：M40.8洪水(実績規模)  
 改修区間：美の川合流点より下流

#### T10.9 洪水(台風)

流域平均雨量2日雨量：212.5mm  
 国包地点流量：不明  
 家屋浸水：不明  
 浸水面積：2,705ha

#### S8 加古川改修工事完了

#### S16 加古川中小河川改修工事(兵庫県)

## 昭和20年～40年代



### S 2 0 . 1 0 洪水（阿久根台風）

流域平均雨量 2日雨量：240.1mm  
国包地点流量：約9,050m<sup>3</sup>/s  
家屋浸水：不明  
浸水面積：不明

### S 4 0 . 9 洪水（前線）

流域平均雨量 2日雨量：208.4mm  
国包地点流量：3,600m<sup>3</sup>/s  
家屋浸水：3,491戸  
浸水面積：7,904ha

### S 4 2 加古川工事実施基本計画

基準点：国包  
計画高水流量：4,450m<sup>3</sup>/s  
計画対象洪水：M40.8洪水（実績規模）  
直轄管理区間：本川 河口～36.3km  
万願寺川 合流点～3.1km  
東条川 合流点～2.0km

## 昭和50年～60年代



### S 5 1 . 9 洪水（台風17号及び秋雨前線）

流域平均雨量 2日雨量：191.4mm  
国包地点流量：2,800m<sup>3</sup>/s  
家屋浸水：床上143戸、床下1,657戸  
浸水面積：5,923ha

### S 5 6 加古川大堰建設開始

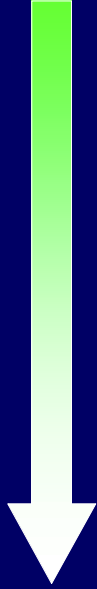
### S 5 7 加古川工事実施基本計画（流量改定）

基準点：国包  
計画規模：1/150  
基本高水のピーク流量：9,000m<sup>3</sup>/s  
洪水調節施設での調節量：1,600m<sup>3</sup>/s  
河道への配分流量：7,400m<sup>3</sup>/s

### S 5 8 . 9 洪水（秋雨前線）

流域平均雨量 2日雨量：225.1mm  
国包地点流量：4,900m<sup>3</sup>/s  
家屋浸水：床上368戸、床下1,666戸  
浸水面積：1,447ha

## 平成～現在



H元 加古川大堰完成

H16.10 洪水(台風23号)

流域平均雨量2日雨量: 216.7mm

国包地点流量: 5,900m<sup>3</sup>/s

家屋浸水: 床上430戸、床下1,222戸浸水面積: 1,013ha

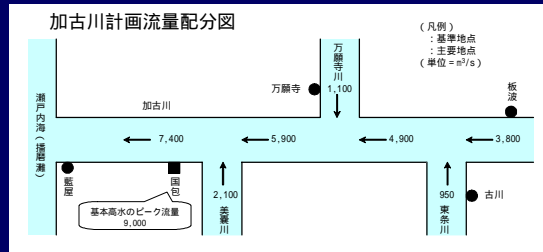
H16~H21 加古川激甚災害対策特別緊急事業(兵庫県管理区間)

H16~H19 河道掘削事業(国管理区間)

## 4-3 既定計画および年最大流量等の経年変化

### (1) 既定計画(S57年工事実施基本計画)の概要

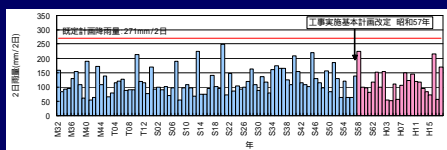
基準地点	国包
計画規模	1/150
計画降雨量	271mm/2日
基本高水のピーク流量	9,000m <sup>3</sup> /s
計画高水流量	7,400m <sup>3</sup> /s



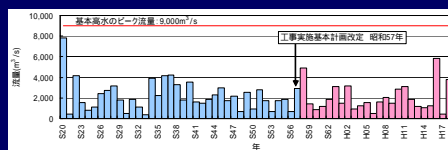
### (2) 年最大流量等の経年変化

既定計画策定後に計画を変更するような大きな出水は発生していない

国包地点 年最大2日雨量データ



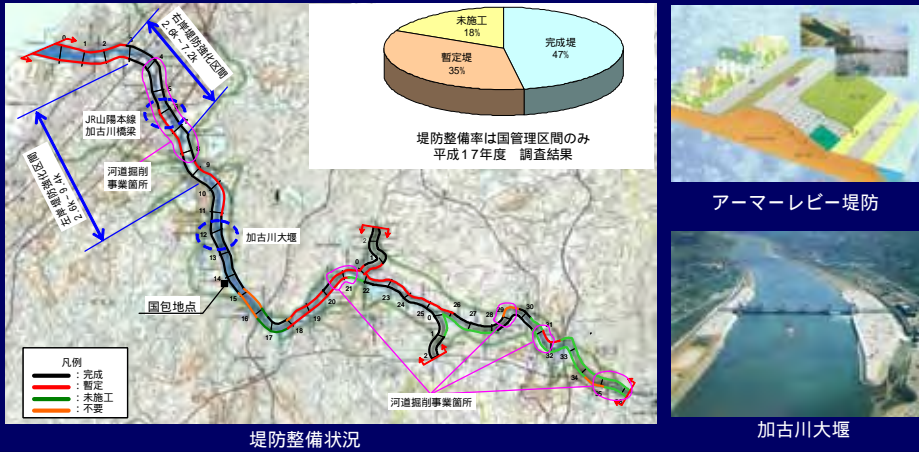
国包地点 年最大流量データ





## 4-4 これまでの治水対策等

人口・資産が集中する下流部では流下能力が不足しているが、橋梁、井堰等が多数存在するため、河川改修には長期にわたる改修期間が必要である。そのため、下流部の被害軽減を図るため堤防強化対策（アーマーレビー）を実施  
 洪水の安全な流下および水資源の確保を目的として、加古川大堰を建設  
 国管理区間では、平成16年台風23号の浸水対策として河道掘削事業を実施中（平成19年度完了予定）



## 5.水利用の現状

### 5-1 水利用の実態

#### (1) 加古川の利水状況

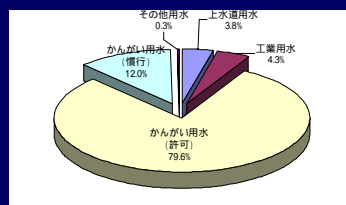
河川水は、農業用水が90%以上を占める一方で、下流部の加古川市、高砂市を中心とする東播磨臨海工業地域への工業用水を供給している

流水の正常な機能の維持、都市用水の供給、県営加古川工業用水事業を目的として、加古川大堰を建設

国営加古川水系広域農業水利施設総合管理事業として、水資源の有効活用をはかるため、ダム、頭首工、揚水機場、導水路等の管理している

吞吐ダムから明石川流域の神出浄水場（神戸市西区）へ送水を実施している。また、神出浄水場よりさらに明石海峡大橋を経由して淡路島に送水されている

国営加古川水系 広域農業水利施設総合管理事業（農林水産省）



加古川水利用の内訳



## (2) 加古川大堰

加古川大堰事業の目的

治水

加古川大堰計画地点上下流には、「五ヶ井堰」「上部井堰」の固定堰が存在し、洪水の流下を阻害していた。そのため、堰の統合、河道掘削により流下能力を確保  
流水の正常な機能の維持

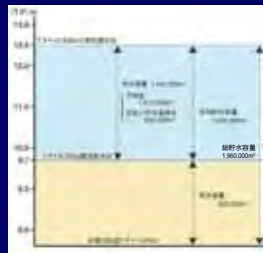
有効貯水容量1,640千 $m^3$ のうち1,010千 $m^3$ を利用して、渇水時には既得農業用水及び下流の高砂市上水・工水等の補給を行う

加古川市の水道用水

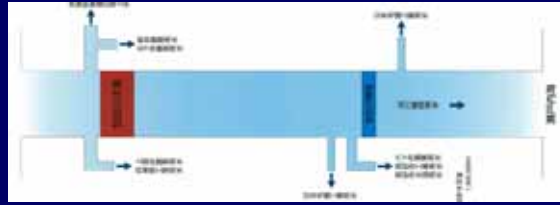
有効貯水容量のうち630千 $m^3$ を利用して、新たに加古川市水道用水として1日最大40千 $m^3$ の供給を可能とする

工業用水道

兵庫県加古川工業用水道事業の取水を行うための取水水位T.P.9.7mを確保する



容量配分図



配水系統模式図

## (2) ため池

加古川流域は比較的降雨量が少ないため、流域内にはかんがい用のため池が多数存在

天満大池は白鳳3年(675年)に築かれたという記録が残っている

ため池の保全・利活用、それをいかした新しい地域づくりに積極的に取り組むグループも次々と誕生している



印南野台地のため池群

(出典：いなみ野ため池ミュージアム)



地域交流

(ため池クリーンキャンペーン)  
(出典：いなみ野ため池ミュージアム)



加古大池

(貯水面積：48.9ha, 貯水量：1,300千 $m^3$ )  
(出典：兵庫県)



天満大池古図

(出典：いなみ野ため池ミュージアム)

## 5-2 湯水の被害状況

加古川における近年の湯水としては、平成6年および平成12年があげられるが、特に平成6年の湯水は、上水および工水において最大で30～40%の取水が制限され、期間も1ヶ月半程度にまで及んだ

平成6年湯水経過

月日	会議等	決定事項	取水制限			大堰貯水量	
			農水	上水	工水	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)
7月20日	第1回情報連絡会議	水文、気象等情報交換				1,478	90
7月26日	第1回湯水調整会議	26日19時より8万m <sup>3</sup> /日取水制限実施	19h～2h (7hr) 取水停止	自主節水	15% 取水制限	575	30
7月27日	姫路工事事務所湯水対策支部設置						
7月28日	第2回湯水調整会議	28日18時より11万m <sup>3</sup> /日取水制限実施	18h～2h (8hr) 取水停止	10% 取水制限	15% 取水制限	430	26
8月1日	第3回湯水調整会議	1日17時30分より18万m <sup>3</sup> /日取水制限実施	17h～3h (10hr) 取水停止	30% 取水制限	40% 取水制限	175	11
8月1日		加古川大堰最低貯水量を記録				140	8.5
8月23日	第4回湯水調整会議	18万m <sup>3</sup> /日取水制限継続 緊急放流8万m <sup>3</sup> /日解除	17h～3h (10hr) 取水停止	30% 取水制限	40% 取水制限	943	58
9月12日	第5回湯水調整会議	12日17時をもって取水制限を全面解除				1,666	102



加古川大堰下流



鬮竜灘

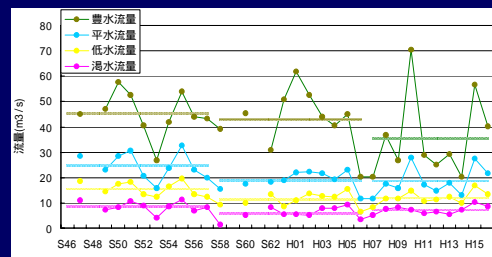
## 6.河川流況と水質

### 6-1 河川流況

加古川の流況は、平均低水流量が12.99m<sup>3</sup>/s、1/10湯水流量が4.17m<sup>3</sup>/s 近年10ヶ年の平均豊水流量が減少している

国包地点流況表

年	豊水流量	平水流量	低水流量	湯水流量	備考
1971 (S46)	-	-	-	-	
1972 (S47)	45.02	28.55	18.45	10.95	
1973 (S48)	-	-	-	-	
1974 (S49)	47.13	23.10	14.38	7.13	
1975 (S50)	57.61	28.68	17.45	8.14	
1976 (S51)	52.55	30.58	18.10	10.52	
1977 (S52)	40.50	20.05	13.50	6.50	
1978 (S53)	26.84	15.05	12.20	4.17	
1979 (S54)	41.78	23.84	16.53	8.14	
1980 (S55)	53.77	32.60	19.42	11.30	
1981 (S56)	43.90	23.10	13.44	6.50	
1982 (S57)	43.14	20.00	12.20	8.14	
1983 (S58)	39.06	18.54	9.16	5.50	
1984 (S59)	-	-	-	-	
1985 (S60)	45.44	17.40	9.86	4.90	
1986 (S61)	-	-	-	-	大霧欠測
1987 (S62)	31.04	18.04	13.27	8.14	一部欠測補填(1ヶ月以上)
1988 (S63)	50.71	19.03	8.70	5.50	一部欠測補填(1ヶ月以上)
1989 (H1)	61.79	22.08	11.09	5.50	
1990 (H2)	52.38	22.95	13.88	5.50	
1991 (H3)	44.12	21.75	12.77	7.90	一部欠測補填
1992 (H4)	40.61	19.88	12.23	8.33	
1993 (H5)	45.11	22.89	14.58	8.33	
1994 (H6)	20.29	11.94	6.57	3.58	一部欠測補填
1995 (H7)	20.26	11.93	8.11	5.00	一部欠測補填
1996 (H8)	35.58	17.64	11.75	7.48	
1997 (H9)	26.84	15.70	11.63	8.33	
1998 (H10)	70.53	27.49	14.78	7.13	
1999 (H11)	28.79	12.38	10.76	5.50	
2000 (H12)	24.94	14.88	11.37	6.46	
2001 (H13)	29.19	17.91	12.20	5.50	
2002 (H14)	20.24	13.13	9.85	7.20	
2003 (H15)	58.53	27.44	16.73	10.47	
2004 (H16)	40.23	21.69	13.51	8.33	
平均	41.23	20.74	12.99	7.24	
3/30	-	13.13	8.70	4.17	



国包地点流況経年変化

**豊水流量:** 1年を通じて 95日はこれを下回らない流量  
**平水流量:** 1年を通じて185日はこれを下回らない流量  
**低水流量:** 1年を通じて275日はこれを下回らない流量  
**湯水流量:** 1年を通じて355日はこれを下回らない流量

## 6-2 河川水質

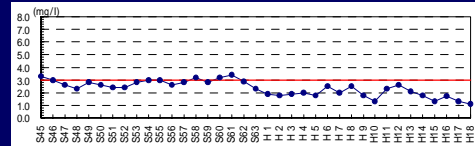
BOD75%値は、環境基準点で環境基準を満足している



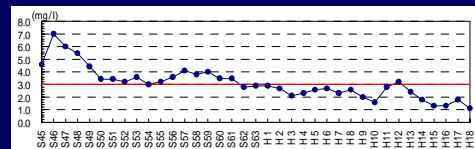
加古川水系の類型指定状況

環境基準の類型指定

水 域	類 型	達 成 期 間
加古川上流 (篠山川合流点より上流)	A	イ 直ちに達成
加古川下流 (篠山川合流点より下流)	B	ロ 5年以内で可及的速やかに達成



板波地点BOD75%値の経年変化



国包地点BOD75%値の経年変化

## 7.河川空間利用

河川空間は、下流部では川幅が広く高水敷に河川公園が整備されており、スポーツや散策等に利用されている

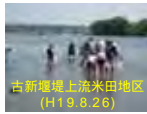
**加古川市民レガッタ**  
毎年8月上旬に、加古川大堰の湛水面を利用した加古川漕艇センター特設コースで開催され、平成19年(第13回)は238クルー1,200名の参加があった。



**船渡御**  
高砂神社の3年に一度の神事であり、神輿が加古川右岸の船渡場から船に乗って瀬戸内海を航行し、堀川を経て高砂神社に上がる。



**環境学習**  
地元の子供たちによる環境学習の状況。  
吉新堰堤上流米田地区 (H19.8.26)



**川代渓谷**  
篠山川の川代渓谷には、川代公園が整備され、春には川代さくらまつりが開催される。



**加古川の鮎漁**  
毎年5月1日、全国で最も早く鮎漁が解禁となり、闘竜灘では「笥どり」と呼ばれる漁法が夏の風物詩となっている。毎年5月3日は「花まつり鮎まつり」が開催される。



**加古川マラソン**  
毎年12月下旬に、加古川みなもロードを利用して開催される。平成19年(第19回)は43都道府県より4,679名の参加があった。





## 8.現況における課題

### 河道内の樹林化

- ・河道内に繁茂している樹木群が洪水の流下を阻害している
- ・樹木群が洪水時に流出し、流木となって河川構造物等に被害を与える

### 治水上の問題

- ・加古川中流部に存在する鬮竜灘により洪水の流下が阻害されており、H16.10洪水においても浸水被害が発生
- ・上流の治水安全度が低く、上流を改修した場合、下流の流量が増加する等の上下流問題が存在